

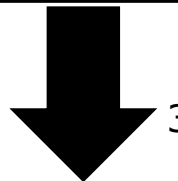
平成29年度 先進地視察研究<四王寺塾> B班 研究報告【概要版】

空き家対策 ～空き家は「地域」の課題～

1 空き家の状況

【空き家増加の背景】

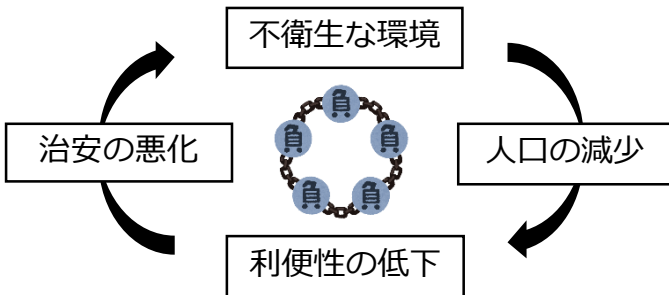
- 少子高齢化に伴う人口減少
- 新築住宅や集合住宅の過供給
- 核家族化や介護施設入居者の増加 etc.



10年後
3割が空き家に!?

【影響】

空き家増加に伴う **負のスパイラル** が発生



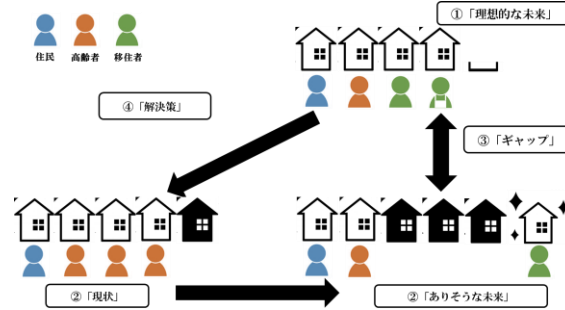
『**地域の魅力**』の低下

2 先進地

【先進地の選定】

バックカスティング

理想的な未来を考え、そこから逆算し、現在と未来の線引き



「理想的な未来」 空き家を活用、必要に応じて除去
 「ありそうな未来」 空き家が活用されず、移住者は新築へ「ギャップ」
 所有者 = 相談先が不明、活用できる家の状態ではない
 移住者 = 古い家は不便そう、知らない地域は不安

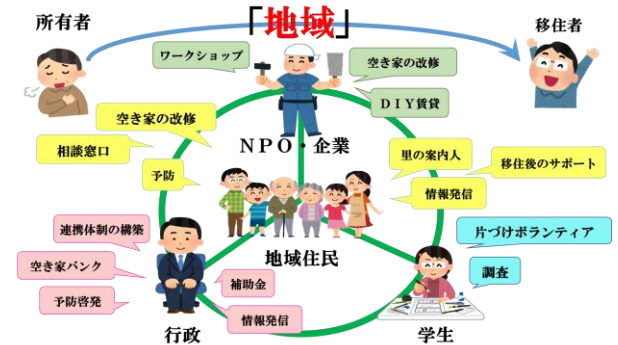
この「ギャップ」を埋める「解決策」を求めて...

先進地の決定

- <京都府京都市> 六原まちづくり委員会
- <大阪府大阪市> 都市再生機構 (UR) 西日本支社
- <広島県尾道市> NPO法人尾道空き家再生プロジェクト
- <山口県周南市> 周南市大道理地区

3 まとめ

【先進地の取組】



- 自治会（行政区）が相談窓口を設置
 - 学生や地域住民も一緒に片付け作業
 - 借主負担DIY賃貸制度の構築
 - 地域を知るための拠点ゲストハウスの運営
 - 住民参加型空き家ワークショップの開催
 - 地域住民による空き家管理
 - 地域住民による移住後の支援
- どの先進地も、空き家対策に『**地域**』が関与

先進地の声 「自分たちの地域をよくしたい。」

空き家は「個人」の問題ではなく「地域」の課題
 『**意識改革**』が重要

行政は地域と問題意識を共有し、
 地域ぐるみの活動を支援